

**全国コンクールで銅賞受賞
日専連版画コンクールで川小児童が快挙**



入賞作品を手に
第32回日専連全国児童版画コンクール（協同組合連合会日専連主催）で、川湯小学校（上中義人校長）から出品した児童が入賞しました。
入賞したのは、6年生の杉山小夏さん。コンクールは全国の小学生を対象に毎年行われていて、今年は515校から3万17点の応募がありました。杉山さんは「思い出に残った場所と自分」をテーマに、学芸会の思い出として太鼓と自分を描いた作品を制作し、見事銅賞を受賞しました。杉山さんは「入賞できてうれしい。太鼓に反射する光の表現と、背景を頑張った」と話していました。

**カメラスケッチ
広報マンが
行く!!**

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけつきます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

冬ならではの楽しみを

13th 極寒芸術祭 2023 Teshikaga
森のスノーパーク



雪の中を進むホーストレッキング
アカエゾマツの森の散策
また、2月25日には、エコツアーリズム推進部会（藤原仁部会長）が「森のスノーパーク」を川湯ビジターセンター周辺で開催。歩くスキー体験やティピーテントでのたき火、ホーストレッキングなど、冬ならではの多彩なアクティビティを実施。スタンプラリーやアウトドアガイドによるスライドトークなども行われ、地元の方や観光客の皆さんで会場がにぎわいました。



OGGさんによる演劇パフォーマンス
野外美術館には多くの作品が
見守られながら楽しく絵付け

てしかがえこまち推進協議会（会長・徳永町長）では、冬ならではのイベントを開催しました。
アート部会（今井善昭部会長）は、「極寒芸術祭」を2月2日から3月3日まで開催。野外美術館での世界各国の現代アート作家による作品展示のほか、アートイン極寒芸術伝染装置アートホールにて26日までの間、アーティストによる演劇パフォーマンスが行われました。この取り組みに合わせ、1月17日と2月15日には、認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）でぞう組の園児を対象に芸術体験ワークショップを開催。1月はアーティスト日笠保さんを講師に迎え親子で作品を制作し、2月は弟子屈ロータリークラブ（渡邊明子会長）との共同事業で、卒園記念制作として園児が素焼きのカップに絵付けを行いました。

**2月9日
パークボランティアとして自然保護に尽力
金井さんに自然公園関係功労者環境大臣表彰**



表彰状を手に
阿寒摩周国立公園摩周屈斜路パークボランティア連絡会会長の金井秀明さんが、令和4年度自然公園関係功労者環境大臣表彰を受賞しました。伝達式は2月9日、町公民館講堂で行われ、同公園管理事務所の和田光央管理官から、金井さんに表彰状が手渡されました。
金井さんは、平成18年からパークボランティアとして活動。自然解説などの指導や、カワユエンレイソウの保護、外来植物の駆除など、同公園の保護や自然保護思想の普及啓発に尽力された業績が認められ、今回の表彰となったものです。

**2月9日
森や川での研究成果を報告
玉川大学との共同研究成果報告会**



研究成果を発表
令和4年度玉川大学との共同研究成果報告会が2月9日、町公民館講堂で行われ、吉備津副町長、岩原教育長ら、関係者など約30人が参加しました。
町は平成21年度から玉川大学との共同研究を開始。平成27年度からは包括連携協定を締結し、相互協力の下で毎年調査を実施しています。今年度は3年ぶりに対面形式で報告会が実施され、11人が発表を行いました。参加者は町の天然記念物マリゴケの分布環境や、屈斜路湖に生息するウチダザリガニの駆除効率の研究などについての報告に、熱心に耳を傾けていました。

**3月3日
地域の役に立ちたい
村井建設(株)の皆さんが地域貢献**



川の中を歩き丁寧に清掃
村井建設(株)（村井順一代表取締役）の皆さんが、3月3日、川湯温泉街を流れる湯川排水路と、その周辺の河川敷の清掃を行いました。
川湯温泉の自然をきれいにしたいという思いから、地域貢献活動として実施されたもので、17人が参加。皆さんは火ばさみとゴミ袋を手で、雪の残る中丁寧にゴミを拾い集めました。

**2月22日
税をテーマとしたポスターを作成
小坂さんが道教育委員会教育長賞 | 川湯中**



表彰状を受け取る小坂さん
北海道が主催する「第37回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」に作品を応募した川湯中学校（藤田崇亮校長）3年生の小坂璃音さんが、北海道教育委員会教育長賞に入選しました。伝達式は2月22日、同校で行われ、釧路総合振興局瀬戸辰也課税課長から表彰状が手渡されました。同募集は、暮らしの中で生かされている「税」について関心を持ち、理解を深めてもらうために毎年行われています。今年度は、全道100校から2,481点の応募がありました。小坂さんは「道税で未来を造る守る生きる」と題し、北海道の美しい景色などを描き、同賞を受賞しました。

町の話題 CloseUp Topics

地域の伝えたい味を学ぶ

イモ団子教室 | 弟子屈中学校



完成までもう少し
楽しく取り組みました
弟子屈中学校（成瀬剛慈校長）で、2月16日、道徳と家庭科の合同授業「イモ団子教室」が開催されました。地域で昔から食べてきたイモ団子の伝統の味や作り方を学ぶことと、地域の皆さんとの交流を目的とし、同校では今回初めて実施されたものです。
当日は、町に長く住む金子ひで子さん、深谷恵美子さん、千代陽子さん、辻八重子さんを講師に迎え、てしかがえこまち推進協議会（会長・徳永町長）食文化部会の木名瀬部会長や地域おこし協力隊の嶋さんらもお手伝いに参加し、同校の1年生25人がイモ団子の作り方や町における歴史的背景を学びました。
生徒たちは6つの班に分かれ、講師の皆さんに作り方やコツを教えてもらいながら、どの作業も楽しんで取り組んでいました。
町支え合い推進員の藤原直美さんは、当町出身の詩人・更科源蔵の著書を紹介し、当時からイモ団子が食べられていた歴史や食べ方などを説明。生徒たちは真剣に耳を傾けていました。
完成したイモ団子を食べた後の活動の振り返りでは、生徒たちから「今まで食べてきたイモ団子の歴史や作り方は知らなかったので学べてよかった」「自分たちもこの味を下世代に引き継ぎたい」などの声がかれました。



ジャガイモの厚さを確認
弟子屈中学校（成瀬剛慈校長）で、2月16日、道徳と家庭科の合同授業「イモ団子教室」が開催されました。地域で昔から食べてきたイモ団子の伝統の味や作り方を学ぶことと、地域の皆さんとの交流を目的とし、同校では今回初めて実施されたものです。
当日は、町に長く住む金子ひで子さん、深谷恵美子さん、千代陽子さん、辻八重子さんを講師に迎え、てしかがえこまち推進協議会（会長・徳永町長）食文化部会の木名瀬部会長や地域おこし協力隊の嶋さんらもお手伝いに参加し、同校の1年生25人がイモ団子の作り方や町における歴史的背景を学びました。
生徒たちは6つの班に分かれ、講師の皆さんに作り方やコツを教えてもらいながら、どの作業も楽しんで取り組んでいました。
町支え合い推進員の藤原直美さんは、当町出身の詩人・更科源蔵の著書を紹介し、当時からイモ団子が食べられていた歴史や食べ方などを説明。生徒たちは真剣に耳を傾けていました。
完成したイモ団子を食べた後の活動の振り返りでは、生徒たちから「今まで食べてきたイモ団子の歴史や作り方は知らなかったので学べてよかった」「自分たちもこの味を下世代に引き継ぎたい」などの声がかれました。